



RDR DHCP LEG のインストール

この章では、RDR DHCP LEG を設定し、実行する手順を説明します。また、アンインストール手順も説明します。

RDR DHCP LEG は、Subscriber Manager (SM) ソフトウェアの外部コンポーネント (PQI ファイル) として提供され、SM コマンドラインユーティリティを使用して個別にインストールする必要があります。RDR DHCP LEG ディストリビューションは、SM CD の一部です。

LEG のインストレーションパッケージには、LEG のコンフィギュレーションファイルおよびコマンドラインユーティリティー式が含まれています。

この章の内容は、次のとおりです。

- [インストール手順の概要 \(p.3-2\)](#)
- [インストール手順 \(p.3-3\)](#)
- [RDR DHCP LEG のアンインストール \(p.3-5\)](#)

インストール手順の概要

ここでは、RDR DHCP LEG のインストール手順の概要を示します。詳しい手順は、該当する項を参照してください。

RDR DHCP LEG をインストールする手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** すべての SM および SCE デバイスに、SCAS for Broadband アプリケーションがインストールされていることを確認します。インストールされていない場合は、『*SCAS for Broadband User Manual*』の説明に従ってアプリケーションをインストールします。
- ステップ 2** RDR DHCP LEG の PQI ファイルをインストールします。「インストール手順」のステップ1を参照してください。

RDR DHCP LEG のコンフィギュレーション ファイルを編集します。「インストール手順」のステップ2を参照してください。

コマンドライン ユーティリティを使用して、コンフィギュレーション ファイルを SM にロードします。「インストール手順」のステップ3を参照してください。

Raw Data Report (RDR) を Login Event Generator (LEG; ログイン イベント ジェネレータ) に送信するように SCE を設定します。「インストール手順」のステップ5を参照してください。

SCE が DHCP トラフィックを収集し、レポートを生成するように設定します。「インストール手順」のステップ6を参照してください。

インストール手順



(注) PQI ファイルのインストール後に、SM が自動的に再起動されます。

RDR DHCP LEG をインストールする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 RDR DHCP LEG の PQI ファイルをインストールします。

SM CLU `sm-inst-dir/sm/server/bin` から、`p3inst` コマンドライン ユーティリティを実行します (`sm-inst-dir` は、SM のインストール先ディレクトリを表します)。

```
> p3inst --install -f rdrdhcp.pqi
```

ステップ 2 RDR DHCP LEG のコンフィギュレーション ファイル編集します。

RDR DHCP LEG には、次の 2 つのコンフィギュレーション ファイルがあります。

- a. `p3rdr_dhcp.cfg` — LEG の一般的なアトリビュートを設定します。
- b. `p3dhcp_pkg.cfg` — パッケージを割り当てるためのルールを設定します。

最初のインストールの直後に、これらのファイルの扱いに慣れておき、必要に応じて編集することを推奨します。詳細は、「[設定](#)」(p.4-1) を参照してください。

ステップ 3 コンフィギュレーション ファイルを SM にロードします。

ステップ 4 SM CLU から、`p3sm` コマンドライン ユーティリティを実行します。

```
> p3sm --load-config
```

このコマンドライン ユーティリティにより、新しいコンフィギュレーションが SM にロードされ、アクティブになります。

ステップ 5 RDR を LEG に送信するように SCE を設定します。

- a. SCE で `RDR-formatter CLI` (コマンドライン インターフェイス) を実行し、LEG をカテゴリ 3 の RDR の送信先として追加します。

```
SCE2000> configure
SCE2000(config)> RDR-formatter destination <SM-IP> port 33001 category
number 3 priority 100
SCE2000(config)> exit
```

ステップ 6 SCE が DHCP トラフィックを取得するように設定します。

- a. SCAS ディストリビューションに含まれている `SCAS for Broadband Console` アプリケーションを実行します (`SCAS Console` の詳しいインストール手順および使用手順については、『*SCAS for Broadband User Guide*』を参照してください)。
- b. コンフィギュレーションに新しいサービスを追加し、サービス名を `DHCP Service` にします。
- c. プロトコル設定ウィンドウ (Configuration è Protocols) を開きます。

- d. ポートベースのプロトコル、*bootps* および *bootpc* を削除します。
 - e. シグニチャベースのプロトコルである DHCP Sniff を見つけ、それに UDP ポート 67 および 68 を追加します。
 - f. *DHCP Sniff* プロトコルを使用して、*DHCP Service* にサービス要素を追加し、「Initiated by either side」に発信側を設定します。
 - g. DHCP スニファとして使用する SCE デバイスに、新しいサービス コンフィギュレーションを適用します。
-



(注) SM クラスタ トポロジをサポートするには、上記の CLI で SM-IP として クラスタ VIP を設定します。

RDR DHCP LEG のアンインストール

RDR DHCP LEG をアンインストールする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 SCE が DHCP トラフィックの取得を停止するように設定します。

- a. SCAS ディストリビューションに含まれている SCAS for Broadband Console アプリケーションを実行します (Console の詳しいインストール手順および使用手順については、『*SCAS for Broadband User Guide*』を参照してください)。

コンフィギュレーションから DHCP Service を削除します。

DHCP スニファとして使用する SCE デバイスに、新しいサービス コンフィギュレーションを適用します。

ステップ 2 LEG への RDR の送信を停止するように SCE を設定します。

SCE で RDR-formatter CLI を実行し、LEG をカテゴリ 3 の RDR の送信先から削除します。

```
SCE2000> configure
SCE2000(config)> no RDR-formatter destination <SM-IP> port 33001
SCE2000(config)> exit
```

ステップ 3 RDR DHCP LEG をアンインストールします。

ステップ 4 SM CLU から、p3inst コマンドライン ユーティリティを実行します。

```
> p3inst --uninstall -f rdrdhcp.pqi
```



(注) アンインストールプロセスの実行後、SM が自動的に再起動されます。

